

各報道機関 様

KJ00596174
2026年1月20日

| | |
|-----|------------------------------------|
| 発信課 | 社会教育部 博物館 |
| 担当者 | 秋山 永 |
| 連絡先 | 電 話 69-2004 |
| | F A X 69-2001 |
| | E-mail museum@city.asahikawa.lg.jp |

| | |
|-------------------------------|---|
| 分 類 | イベント・行事 <input checked="" type="checkbox"/> 募集 <input type="checkbox"/> 契約・入札 <input type="checkbox"/> 会議・説明会 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> |
| 日 程 | 令和8年2月15日 13時30分 ～ 令和8年2月15日 16時30分 |
| 発表項目 (行事名) | 令和7年度博物館講座 ミュージアムカレッジ「はじめての実験考古学 ～縄文編～」 |
| 概 要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。) | <p>博物館では、地域に根差した社会教育活動の一環として、地域の歴史や文化への理解と関心を深めてもらうため、ミュージアムカレッジと題した講座を毎年開催しています。</p> <p>今回は、体感を伴う学びを通じて、地域の歴史や文化、考古学への興味を高め、生涯学習につなげたいと「はじめての実験考古学～縄文編～」と題した講座を開催します。</p> <p>縄文文化の名前の由来である「縄文」をつけた土器片サンプルをつくることによって、古代の人たちの知恵や技術を体感し、当館の常設展示の考古資料の解説と合わせて、より楽しく理解が深まる講座になることを目指しています。</p> <p>1 開催日：令和8年2月15日（日）13:30～16:30 2 場 所：旭川市博物館 （旭川市神楽3条7丁目 大雪クリスタルホール内） 3 対象・定員・料金：中学生以上 定員20人 ※講座は無料ですが、常設展示観覧料が必要です 4 講 師：旭川市博物館 学芸員 友田 哲弘 5 申 込：1月25日（日）9:00から電話（69-2004）で受付</p> |
| 添付資料 | 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> |
| 報道（取材）に当たってのお願い | |
| 備 考 | |

令和7年度 旭川市博物館講座
ミュージアムカレッジ

はじめての実験考古学 ～縄文編～

2026年 2月15日(日)
13:30～16:30

考古学は、遺跡や遺物と

いった「モノ」から過去の人類の生活や文化、

歴史を明らかにしていく学問です。縄文文化は、日本列島独自のもので、およそ1万年続きました。**実験考古学**とは遺物や遺跡は実際にどんな道具を使って製作されたのか、どのように使われていたのかなどを実験により再現することで、古代の人々の生活や技術、行動などを解明していこうとする学問です。

今回は、当館の常設展示の考古資料の解説と合わせ、縄文文化の華である「縄文」を再現・体験し、縄文人の心や地域の歴史に迫ります。

対象：中学生以上 定員：20人

場所：旭川市博物館 郷土学習室、常設展示室

料金：講座は無料ですが、常設展示観覧料が必要です

講師：旭川市博物館 学芸員 友田 哲弘

申込：1/25(日) 9:00 から電話(69-2004)で受付

当日は、縄文をつけた土器片サンプルを作ります。

汚れてもよい恰好で来てください。

問い合わせ 旭川市博物館(神楽3-7) 電話0166-69-2004



ASAHIKAWA
CITY